

議事録（要旨）

会 議	第6回子ども読書活動推進計画策定委員会
開 催 日 時	令和3年2月15日（月）17:30～19:00
開 催 場 所	中央図書館3階視聴覚ホール
出 席 者	委員長 張替恵子 委員 赤羽幸子 委員 岩本恵真 委員 鈴木佳苗 委員 庭井史絵 委員 萩原敦子 委員 若槻義隆 委員 勝又隆二 委員 福島文昭
事 務 局 出 席 者	図書館長 目澤弘康 統括指導主事 小澤泰斗 中央図書館 前田奈緒子 中央図書館 後藤千春 中央図書館 飯田香代子 中央図書館 吉富静枝
配 布 資 料	次第 資料1 第5回武蔵野市子ども読書活動推進計画策定委員会 議事要録（案） 資料2 第2次武蔵野市子ども読書活動推進計画（案） 資料3 第2次武蔵野市子ども読書活動推進計画 概要版（案）
議 事	<p>（1）第5回議事要録（案）の確認について 【事務局】（資料1） 事前にいただいた修正やご意見等反映した資料を配布している。確認いただき、承認の後、ホームページにて公開する。</p> <p>（2）パブリックコメント募集についての報告（資料2）</p> <p>（3）第2次武蔵野市子ども読書活動推進計画（案）について（資料2）</p> <p>＜委員との質疑回答＞ 【委員長】 それでは次第に沿い進行させていただく。 【事務局】 12月～1月にかけてパブリックコメントを実施した。そのご意見と取扱方針を46ページ以降にまとめているのでご説明する。（資料2 46ページ 1番～2番説明） 【委員長】 ご意見がないようなので先に進めさせていただく。 【事務局】（資料2 47ページ 3番～7番説明） 【委員長】 ご意見がないようなので先に進めさせていただく。 【事務局】（資料2 48ページ 8番～13番説明） 【委員長】 ご意見がないようなので先に進めさせていただく。 【事務局】（資料2 49ページ 14番～19番説明） 【委員】 16番「collabonoおやこひろば・コミセン親子ひろばなど、乳幼児が集まる機会にも配布して欲しい」とあるが、0123スタッフが定期的にこれらの会に出向く際に配布することも可能だがいかがか。本文30ページ「ブックリスト等配布物の作成及び配布」の文中に、具体的にコミセン・collabonoおやこひろばの言葉も入れてはどうか。 【事務局】 パブリックコメント部分の取扱方針の中で、コミセン親子ひろばなどへのブックリストの配布をもっと踏み込んで記載するかたちでいかがか。 【委員】 本文30ページでは「保育園、幼稚園、0123施設など」となっており、施設を限定している記述ではない。49ページ16番の回答を「参考にさせていただきます」より少し前向きに「乳幼児が集まる機会での配布も検討していきます」との記述にしてはいかがか。 【委員長】 本文までは変更せず、回答を前向きに検討しますとの記述にする方向</p>

でよいように思う。

【委員】了解した。

【委員長】他はよろしいか。それでは先に進めさせていただく。

【事務局】（資料2 50ページ 20番～23番説明）

【委員長】ご意見がないようなので先に進めさせていただく。

【事務局】（資料2 51ページ 24番～29番説明）

【委員長】ご意見がないようなので先に進めさせていただく。

【事務局】（資料2 52ページ 31番～35番説明）

【委員長】ご意見がないようなので先に進めさせていただく。

【事務局】（資料2 53～54ページ 36番～46番説明）

【委員】パブリックコメントは一人の方がたくさん意見を出されているのか、それとも5名の方が同じくらい出されているのか。

【事務局】5名のうち数名の方から多くの意見をいただいている。

【委員】非常に具体的で細かい指摘だと思う。感心して読んだ。

【委員長】市の方も大変丁寧にお答えになっていると思う。

【委員】30番「配架・装飾などの環境整備の充実」で、「学校図書館の司書業務以外の仕事、例えば整理整頓や装飾などはボランティアにお願いしてはどうか」との意見について、実際には学校に飾り付けや本の修理をするボランティアがいるのか。

【委員】学校によっては図書ボランティアを募っているところもある。PTA活動の一つにしたり、PTA有志の方がなさったり様々だが、図書ボランティアがいない学校もたくさんある。

【委員】実際にボランティアが動いている学校も中にはあるということか。

【委員】そのとおりである。ただ、それぞれの学校で特色、個性、PTA活動とあり、一律にするのは難しい。

【委員】33番の「保護者が行っている学級文庫の具体例がわからない」について。学級文庫の団体貸出しは担任もたまにする。教員が団体貸出しでこういったジャンルを借りたいというのも確かにあるので「保護者が行っている」と限定するのはどうか。「学級文庫への図書の貸出を継続して支援します。」でよいのでは。

【事務局】今のご意見を踏まえて修正させていただく。

【委員】12番の読書習慣に関するご指摘で、取扱方針に「面白くもない本を読まされる苦痛からではなく喜びやワクワクする経験を」とあるが、全員に同じ良書的な本をすすめるのではなく、その子にあった本をできるだけ薦める、といった内容に変更すると、意図がより明確に伝わると思う。皆が面白いと思っても、その子にとって面白くないのに一律に読まされるのが課題という点をご意見の中に含まれていると思われるので。それぞれの子どもの興味にあった本を薦めたいとするとずいぶん違った印象になる。実際にやるのは難しいと承知しているが、表現を考慮してもらいたい。

【事務局】その子にとっての興味関心に沿うようにとの趣旨の表現を回答に取り込むとのことでしょうか。

【委員】どういう表現にするかは難しいとは思いますが、個々の興味に考慮した本を薦めるとの意味あいが入れば良い。

【委員】1番のご意見への回答を12番にも活用できるのではないかと。

【委員長】他にお気づきの点がなければパブリックコメントについての質疑応答はここまでとする。

【事務局】ここまでのご意見を再度確認する。パブリックコメントについては12番、16番、33番の取扱方針の記述を変更、本文では34ページ「学級文庫への団体貸出し」の「概要」の記述を変更する。それらをもって、計画案はこの委員会で承認いただいたということでしょうか。

【委員長】次第の(3)も含めて了承いただいたものとする。ありがとうございます

ました。

【事務局】 今後の予定について

3/4 の教育委員会定例会に計画案を提出し、議決後「武蔵野市子ども読書活動推進計画」成立となる。3月中に計画書として完成し HP 等で公表する予定である。来年度以降、この計画に基づいて市内3館を中心にしっかり進めていきたい。

【事務局】 最後に委員の方から一言ずついただけるとありがたい。

【委員長】 コロナ禍ではあったが、リアルな会議を重ねて、それぞれのお立場から活発なご意見をいただき、とても濃い話し合いがすすめられて良かった。事務局も準備が大変だったと思う。並行して栃木県の益子町でも子ども読書推進活動のお手伝いをしていたが、益子町は図書館がこれから建つという、産声をあげた状態である。比較して、武蔵野市は成熟した厚みのある図書館行政が行われている状態。この計画をもとに是非充実した活動を広めてほしい。委員の皆様とも一旦お開きかと思うと名残惜しいくらい楽しい時間を過ごせた。皆さまに感謝したい。

【委員】 私も同じく他の自治体の計画のお手伝いをしているが、学校図書館を子どもの読書の場所としてこれだけページ数を割いてくださったことに、学校図書館に関わってきた者として感謝している。今後も良い方向にいくようにお手伝いしていきたい。良いご縁をいただきありがたい。

【委員】 初めてこうした委員会に参加して、これだけたくさんの細かい計画をもとにこれまでの歴史があり、積み上げてきたものがあるということを知り、武蔵野市の良さと図書館の価値を再認識した。これまでは表面的に図書館を利用していただけだったが、側面から感じる事ができてとても良かった。皆さまに感謝している。たくさんの資料の準備がありがたかった。

【委員】 長い間0123のスタッフとして働いていつつも、市内の図書館をあまり使ったことがなかったが、こんなにたくさんのことを考えて下さっていたんだとありがたかった。他の委員の先生方のお話を伺い、大変勉強にもなった。図書館を積極的に使っていきたいと思うと同時に、0123施設としても図書館と足並みをそろえて連携していければと、楽しみにしている。事務局には、委員の意見を踏まえて次の回までに資料をまとめていただきありがたかった。

【委員】 各専門の先生方からいろいろお話を伺い勉強になった。計画が作られて、それを実行に移していくのが行政の仕事と思うのでしっかり勤めていきたい。

【委員】 当初は3月に委員会開始予定で先生方をお願いしていたが、時期を合わせるようにコロナ禍になってしまった。多様なご意見をいただき、素晴らしいものができたと思う。コロナの影響で来年度は非常に厳しい予算状況ではあるが、少しずつでもこの計画が実現していくように努力したい。電子書籍等については今年1月にサービスを開始した。今後は、関係機関との連絡会等の設置をして、この計画が具体的にすすむようにしていきたい。引き続きお力を借りることもあろうと思うが、その際はよろしくお願ひしたい。

【委員】 いろいろな方面からお話を聞かせていただき勉強になった。特に中学生の不読率が高いとのご指摘や関連のお話を聞き、中学校の校長として子どもの読書を推進していく責任を感じる機会となった。来年度予定の図書館サポーターのモデル校に手を挙げている。もしモデル校となった場合はしっかり取り組み、皆さまのお話も聞きながら18校に広がって行くようにしたい。

【委員】 たくさん勉強させていただいた。読書について、その良さをひとつずつ確認できたとともに、大切にしていかなければならないことをもう一度自分の中で再構築できた。学習指導要領の中でも、学校図書館には読書センター、情報センター、学習センターの役割が求められ、司書教諭、学校司書の役割もはっきりと示されてきている。このようななか、学校はきちんと読書活動を推進してい

	<p>ねばならない。市内の学校で心を合わせ推進していくことへの責任も感じる。</p> <p>【委員】 後半はリモートで参加させていただいたが、毎回、現場や先生方のお話を伺い、今後読書や読むことの支援をどうすすめるかについて考える機会になった。いろいろな気づきもあり、参加できて良かった。今回計画ができ、この後どんな展開になるのか大変楽しみである。今後の展開を聞く機会があればよいと思う。</p> <p>【事務局】 以上で第2次武蔵野市子ども読書活動推進計画策定委員会を終了とする。</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>
--	---